

【ペア・リング・キャッチ】



向い合った2人が3つ以上のリングをまとめて投げ合い、トータルでいくつのリングをキャッチできるかを競う、少人数で楽しめる種目です。2人の距離は、お互いの両手を大きく広げた距離の長さなので、子ども同士であれば距離は短く、大人であれば長くなるので、異年齢の対抗戦も楽しめます。

- 人数 1チーム2人
- 隊形 ニュートラルゾーンを挟んで向かい合います。どちらか一方がリングを3本以上持ちます。
- 用具 CG推進本部公認ゴム製リング3本以上
(直径16.5cm、太さ3cmの円形で赤または黄色)。
- カウント キャッチしたリングの本数をカウントします。成功した本数を加算したものを記録とします。
- ルール
 - ・競技者がお互いに握手をします。2人が握手したまま両手を広げた間隔の距離を測り、ラインを引きます。これがニュートラルゾーンとなります。
 - ・審判の合図とともに、片方の人は、3つ以上のリングをまとめてもう片方の人に向かって投げます。
 - ・投げる時はリングを横に束ねて4指を伸ばし、必ずリングの中に入れた状態でアンダースローで投げます。もう片方の人は、それをできるだけたくさんキャッチします。キャッチできたリングの数がカウントされます。
 - ・リングを全部キャッチできた人は、ニュートラルゾーンの外側からすぐにリングを投げ返します。
 - ・キャッチに失敗して落とした場合はリングをすばやく拾い（投げた人も拾うことは可能）、ニュートラルゾーンの外側に出てからリングを投げます。
 - ・リングをキャッチした数を加算していき、合計を記録とします。
 - ・競技時間は2分間とします。ただし、リングを5個以上で実施する場合は、競技時間が過ぎても、ミスキャッチせずに続いている場合は競技を続行できます。この場合、ミスキャッチまたはアウトとなった時点で競技終了となります。
- アウト
 - ・ニュートラルゾーンの内側でスローイング、またはキャッチした場合（ラインを踏んでもアウト）。
 - ・定められた持ち方以外でリングを投げた場合。
 - ・リングを地面につけた状態でキャッチした場合。
 - ・競技時間の間で、投げるリングの数を変更した場合。
 - ・競技者以外の人（審判員を含む）が、故意にリングに触った場合。